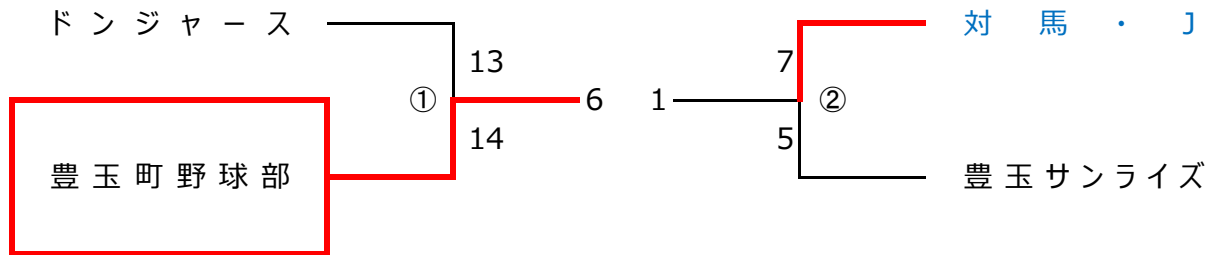


第2回 長崎県C級選抜軟式野球大会 対馬予選会の結果

会期 令和2年10月18日(日)

会場 美津島野球場



①【一回戦】 09:59～2時間41分 延長八回から十回はタイブレーク

ドンジャース	020 022 023 2	13
豊玉町野球部	400 011 023 3x	14

【本】古里 2

【三】古里、岩佐

【二】國分、井出 2

七回を終わって6-6。無死一二塁制のタイブレークは延長十回まで三度行い、十回裏二死満塁に岩佐の中越打で三者が還って2時間41分の死闘にケリをつけた。

豊玉町野球部は初回到に2敵失1死球走者が古里の2点三塁打や国分の中適時打などで4得点。四回は扇の適時打、五回には古里の左翼越え弾で合計6得点。

ドンジャースは二回無死満塁に併殺崩れの悪送球で2点。五回は4四死球に恵まれて平松のタイムリー打と四球押し出しで2点。1点差を追う六回は敵失や死球から暴投生還に築城の勝ち越し打。

延長八回は敵失などで2点のドンジャースに対し、豊玉町は二三塁に松本が左に2点打。更に敬遠などで一死満塁も後続が倒れ、再び延長の九回はドンジャースが連続四死球の押し出しと暴投生還に國分の中前適時打で3得点したが、豊玉は先頭の古里が左線

【ドンジャース】 打安点球 【豊玉町野球部】 打安点球

④ 長岡 亮	5 0 0 1	⑥ 扇 祥喜	4 1 1 0
⑥ 國分 大樹	3 2 1 3	④ 斉藤 良樹	4 0 0 2
①3 市山 和希	5 0 0 1	③13 森 俊介	4 0 0 2
⑤ 平松 馨	5 1 1 1	⑧ 岩佐 太陽	6 1 3 0
② 築城文士郎	6 1 2 0	⑦ 井出 裕介	5 2 0 0
③1 永留 英昭	3 0 0 3	⑨ 古里 将輝	4 3 6 1
⑧ 中島 重幸	5 1 1 1	⑤ 国分 治幸	4 1 1 1
⑦9 永留 潤也	3 0 1 0	② 糸瀬 慎吾	5 1 0 0
H9 永留 和豊	2 0 0 1	①31 松本 拓之	5 2 2 0
⑨7 田口 一成	4 0 0 0	1 樋口 和	0 0 0 0
H7 原田 武茂	0 0 1 1	犠2振7残12併0	41 11 13 6
犠0振6残17併0	41 5 7 12		

【審判】藤島隆之、春田一馬、多田康佑、扇裕二に同点の3ラン。無死一二塁制が三度目のドンジャースは重盗後に二つの敵失で2点を挙げ、尚も一死二三塁と攻めたが三ゴロで三走が本塁死し、追加点機を逸した。

②【一回戦】 12:58～ 1時間37分

対馬・J	1 0 1 1 3 0 1	7
豊玉サンライズ	1 0 1 0 0 0 3	5

【三】津屋

【二】小島、安木

両チームとも今期の公式戦は勝利が無く(対馬Jは相手の棄権による不戦勝が1)、初の対戦は対馬Jが逃げ切った。

初回のJは二死から四球の平松が二盗後に小島の右線打で先制。三回は二死三塁に平松が左安打。四回に先頭四球の一宮が二三盗後に黒岩の左犠飛で勝ち越すと、五回には敵失を間の2死球で無死満塁に四球押し出しと一宮の投ゴロに井の左犠飛などで3得点し点差を広げると、七回は平松、小島の連続短長打で5点差に。

サンライズは初回二死後に四球。松村の中安打が逸れる間に一走が還り同点。三回は先頭村瀬が安打の一死一二塁に安木の左越二塁打で再び同点とした。4点差を付けられた五回に村瀬、津屋の連打で無死一二塁としたが中軸に後続が無く、最終七回は先頭の扇と村瀬が連安打。津屋の三塁打に続いて吉田が左適時打の4

【対馬・J】 打安点球 【豊玉サンライズ】 打安点球

② 江口 豊隆	2 0 0 2	⑥ 津屋 敏彦	4 2 2 0
⑥ 坂上 仁志	4 0 0 0	⑧ 吉田 周平	4 1 1 0
⑧ 平松 啓一	2 2 1 2	①7 安木 和也	3 1 1 1
③ 小島 一輝	3 2 3 1	⑤ 松村 直哉	4 1 0 0
⑤9 一宮 努	3 0 1 1	④ 中嶋 慎一	4 1 0 0
① 井 浩	3 0 1 0	⑨ 平井 充	4 0 0 0
⑦ 黒岩 到	3 0 1 0	⑦1 築城 公則	3 0 0 0
④ 多田 直樹	3 1 0 0	③ 扇 泰広	3 1 0 0
⑨ 中庭美智雄	2 0 0 0	② 村瀬 新吾	3 3 0 0
H5 白濱憲一郎	1 1 0 0	犠0振4残7併0	32 10 4 1
犠2振2残6併0	26 6 7 6		

【審判】川崎仁、多田康佑、ドンジャース、春田一馬連打で2点差。二死後に中嶋の安打で同点の走者を出したが、後続が打ち取られた。

【決勝】 14:52～ 1時間18分

【本】岩佐

【対馬・J】 打安点球

【豊玉町野球部】 打安点球

対馬・J	1 0 0 0 0 0	1
豊玉町野球部	0 0 0 3 2 1 X	6

【三】森

【二】糸瀬

② 江口 豊隆	2 0 0 2
⑥5 白濱憲一郎	3 1 0 1
⑧ 平松 啓一	2 0 0 1
③ 小島 一輝	3 0 0 0
⑤6 一宮 努	3 2 0 0
① 井 浩	1 0 0 2
⑦ 黒岩 到	3 0 0 0
④ 多田 直樹	3 0 0 0
⑨ 中庭美智雄	0 0 0 1
9 坂上 仁志	1 0 0 1

⑥ 扇 祥喜	3 0 0 0
⑨ 井出 裕介	3 0 0 0
③ 森 俊介	3 2 1 0
⑧ 岩佐 太陽	3 1 3 0
⑦ 古里 将輝	3 0 0 0
④ 斉藤 良樹	3 2 0 0
⑤ 国分 治幸	2 1 0 1
② 糸瀬 慎吾	3 1 1 0
① 樋口 和	2 0 0 0

犠O振1残2併0 25 7 5 1
 犠O振2残7併1 21 3 0 8

初回の1失点を追う豊玉町野球部は三回まで国分の1安打走者のみ。四回に先頭敵失(二盗)と森が安打の2走者を岩佐のランニング本塁打で還し一気に逆転。五回には二死から敵失と森の三塁打などで2点を追加。六回にも死球走者を糸瀬の左二塁打で還して5点差を付けた。

対馬Jは前試合で今季公式戦初勝利(不戦勝は除く)を挙げたが、9月に大村市で開催された『全九州実年(50歳以上)長崎県大会』において波佐見フェニックスを5-1。佐世保西海クラブを7-6と連勝し、11月21日から宮崎県で開催される九州大会に長崎県からの代表2チームとして参加する。その前哨戦として参加した本予選会の決勝戦は、初回到安打の白濱が三つの捕逸で生還し、幸先の先取点を挙げた。二回以降も五回の三者凡退を除いて7四球を得て、二回と六回には一宮の2安打などで二度の得点機を作ったが

【審判】波多野幹治、扇裕二、サンライズ、藤島隆之好機に一打が無く、六回は先頭から連続四球に一死後に一宮の安打で満塁と攻め立てたが後続の二者が倒れ、初回の1点のみに終わった。



優勝の豊玉町野球部は、11月7日から諫早市で開催の『第2回長崎県C級選抜軟式野球大会』に、対馬支部代表で出場する。